イ　活動プログラムの指導計画

小学校の活動プログラム(全６時間)

時	内容	活　動　名	活　動　内　容
1	①怒りについて知る	「怒りについて考えよう」	・トラブルが起きるときに抱く様々な感情の一つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、怒りは人によって感じ方が違うことに気付きます。
2		「怒りと上手に付き合おう」 	・怒りの仕組みと【怒りへの対処法】について学習します。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化し、怒りの仕組みについて理解します。 ・【怒りへの対処法】として、学校で、一人でできる対処法を体験します。 【怒りへの対処法】 ①深呼吸 ②カウントアップ ③魔法の言葉（自分への声掛け）
3	②トラブル未然防止のスキル	「トラブルにならないようなきき方を練習しよう」	・トラブルになりそうな場面での聴き方について学習します。 ・教師のモデリングを見て、【聴き方のポイント】について理解します。 ・【聴き方のポイント】に気を付けながら練習します。 【聴き方のポイント】 ①最後まで聴く ②相手の顔を見て聴く ③うなずきながら聴く ④あいづちをうちながら聴く
4		「トラブルにならないような話し方を練習しよう」 	・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・教師のモデリングを見た後に、【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】に気を付けながら練習します。 【話し方のポイント】 ①事実の確認をする ②自分の気持ちを伝える ③相手にどうしてほしいのかを提案する ④別の提案をする

4	③トラブル解決のスキル	「友達のトラブルを解決する方法を知ろう」 	・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。 ・「ＡＬ’Ｓの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリングを見て、【トラブル解決のポイント】について理解します。 【トラブル解決のポイント】 ①トラブルの当事者である２人に、間に入ることを確認する ②トラブルの当事者である２人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる ③トラブルの当事者である２人の言い分を繰り返しながら平等に聴く ※解決案を出さない ※３つのポイントが守られないような場合は、大人に話す
5		「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」	・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブル場面でのロールプレイを行います。

※活動プログラムは、以下の教育課程で実施することが考えられます。
・特別活動【学級活動（１）ウ　学校における多様な集団の生活の向上】
・特別活動【学級活動（２）オ　望ましい人間関係の確立】
・道徳【２　主として他の人とのかかわりに関すること】
・総合的な学習の時間【学び方やものの考え方を身に付けること】

実施する際は、各教科等の目標やねらいと活動プログラムのねらいを十分に照らし合わせることが必要です。

高等学校の活動プログラム(全４時間)

時	内容	活　動　名	活　動　内　容
1	①怒りについて知る	「怒りについて考えよう」 	・トラブルが起きるときに抱く様々な感情の一つである怒りについて学習します。 ・温度計を例に、怒りを数値化していくことで、怒りは人によって感じ方が違うことに気付きます。 ・風船を例に、怒りの大きさをスライドを使って視覚化し、怒りの仕組みについて理解します。 ・【怒りへの対処法】として、学校で、一人でできる対処法を体験します。 【怒りへの対処法】 ①深呼吸 ②カウントアップ ③自分への声掛け
2	②トラブル未然防止のスキル	「トラブルにならないような話し方を練習しよう」	・トラブルにならないような【聴き方のポイント】を確認します。 【聴き方のポイント】 ①相手を見て、うなずきながら聴く ②最後まで聴く ③相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く ・トラブルになりそうな場面での話し方について学習します。 ・教師のモデリングを見た後に、【話し方のポイント】について理解します。 ・【話し方のポイント】に気を付けながら練習します。 【話し方のポイント】 ①事実の確認をする ②自分の気持ちを伝える ③相手にどうしてほしいのかを提案する ④別の提案をする

３	③トラブル解決のスキル	「友達のトラブルを解決する方法を知ろう」 	・トラブルの場面で、第三者としてトラブルを解決していくためのポイントを学習します。 ・「ＡＬ’Ｓの法則」を使ったトラブル解決の場面のモデリングを見て、【トラブル解決のポイント】をまとめます。 【トラブル解決のポイント】 ①トラブルの当事者である２人に、間に入ることを確認する ②トラブルの当事者である２人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる ③トラブルの当事者である２人の言い分を繰り返しながら平等に聴く ※解決案を出さない ※３つのポイントが守られないような場合は、大人に話す
４		「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」	・【トラブル解決のポイント】を使って、具体的なトラブル場面でのロールプレイを行います。

※活動プログラムは、以下の教育課程で実施することが考えられます。
・特別活動【ホームルーム活動（１）ア　ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決】
・特別活動【ホームルーム活動（２）オ　コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立】

実施する際は、各教科等の目標やねらいと活動プログラムのねらいを十分に照らし合わせることが必要です。